

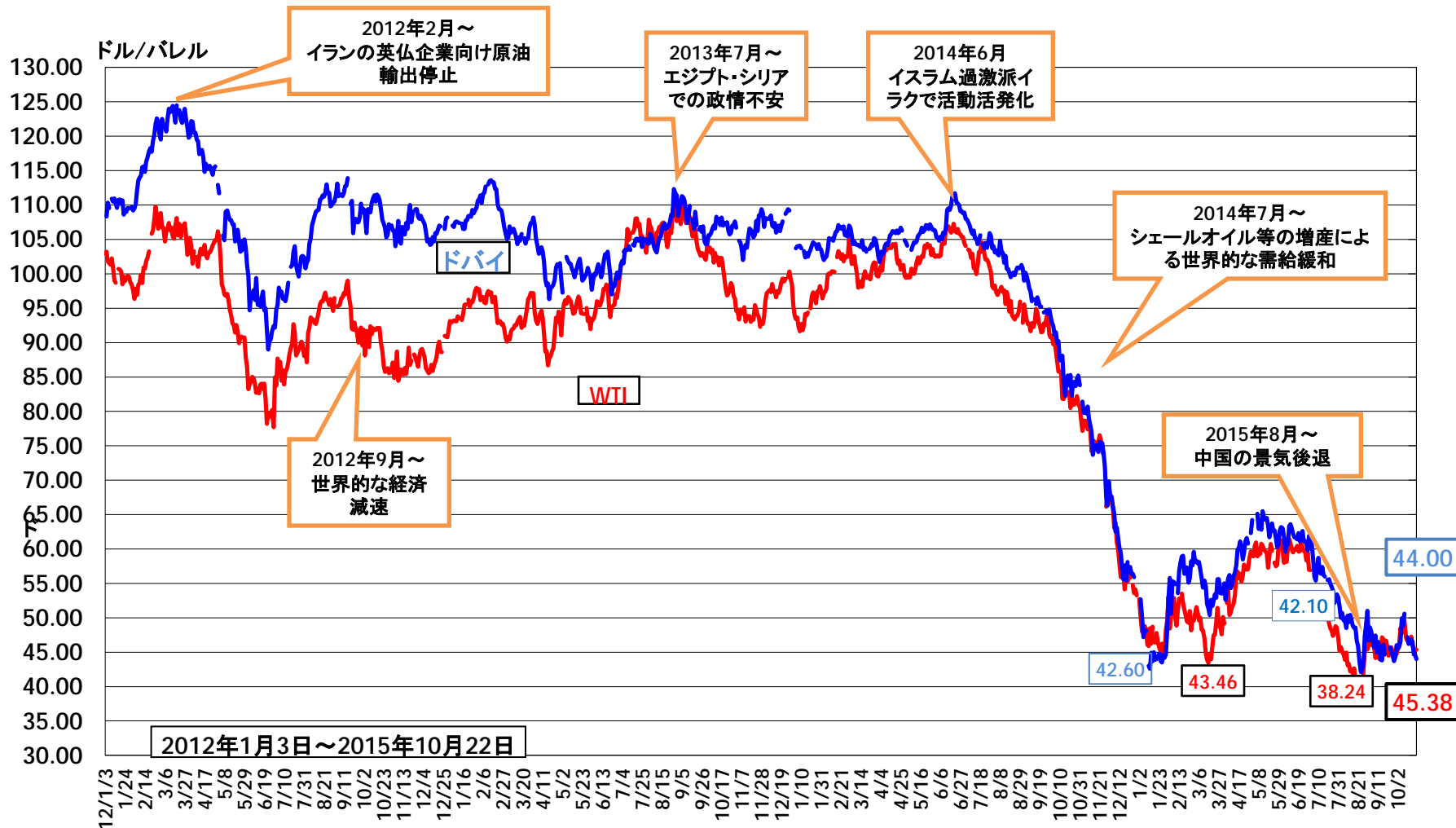
北海道地域灯油意見交換会資料

～わが国の灯油価格について～

(一財)日本エネルギー経済研究所
石油情報センター
浜林 郁郎

1. 原油価格(米国(WTI)・中東(ドバイ))の推移

- 原油価格は、米国WTI、欧州ブレント、中東産ドバイが指標原油となり、相互に連動しながら日々変動する。
- 原油価格は、石油需給、経済情勢、中東情勢などに影響される。昨年夏以降大きく値下がりしている。



2. 原油価格の変動要因

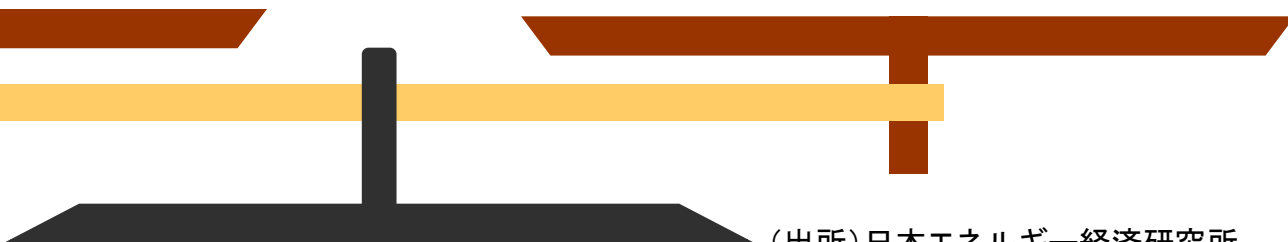
○原油価格は、足下の経済状況を反映した需給や在庫状況などを基礎とした「需給ファンダメンタルズ」に加え、将来の需給に対する懸念、地域紛争やテロなど地政学リスク要因、さらには株価やドル相場など金融要因といった「プレミアム」が影響。

価格上昇要因

- ✓ ISによる活動やイエメン情勢などの中東地域における政情の不安定化やテロ活動
- ✓ 米国・中国を始めとする世界の石油需要回復の継続
- ✓ サウジアラビアによるシェア重視戦略の転換
- ✓ 米国におけるシェールオイルの減産
- ✓ イラン核開発交渉の難航化と経済制裁の継続・強化

価格下落要因

- ✓ イラン制裁の早期緩和に伴う輸出量の増加やイラクにおける増産の継続
- ✓ 以上の状況に対するサウジアラビアのさらなる増産
- ✓ 2015年秋以降の米国連銀の利上げに伴うドル高・マネー供給減
- ✓ ギリシャ債務危機による欧州・世界の金融・経済への悪影響の拡散
- ✓ 中国を始めとする新興国経済の減速と需要の低迷



(出所) 日本エネルギー経済研究所

3. 2015~16年の石油需給と原油価格見通し

3-1 世界の石油需要見通し

(単位:百万b/d)

	2012	2013	1Q14	2Q14	3Q14	4Q14	2014	1Q15	2Q15	3Q15	4Q15	2015	1Q16	2Q16	3Q16	4Q16	2016
アメリカ大陸	23.6	24.1	23.9	23.7	24.4	24.6	24.1	24.2	24.1	24.8	24.8	24.5	24.6	24.3	24.8	25.0	24.7
欧州	13.8	13.6	13.0	13.3	13.8	13.4	13.4	13.4	13.5	13.8	13.5	13.6	13.4	13.6	13.8	13.5	13.6
アジア・オセアニア	8.5	8.4	8.9	7.7	7.7	8.3	8.2	8.8	7.7	7.8	8.3	8.1	8.7	7.6	7.8	8.4	8.1
OECD計	45.9	46.0	45.7	44.8	45.9	46.3	45.7	46.5	45.3	46.5	46.7	46.2	46.6	45.5	46.4	46.9	46.4
FSU	4.6	4.7	4.6	4.8	5.1	5.0	4.9	4.6	4.8	5.0	4.9	4.8	4.6	4.8	5.0	4.9	4.8
欧州	0.7	0.7	0.7	0.7	0.7	0.7	0.7	0.7	0.7	0.7	0.7	0.7	0.7	0.7	0.7	0.7	0.7
中国	9.9	10.3	10.3	10.6	10.5	11.0	10.6	10.8	11.2	10.9	11.2	11.0	11.1	11.4	11.3	11.5	11.4
その他アジア	11.4	11.8	12.0	12.1	11.7	12.1	12.0	12.4	12.5	12.2	12.7	12.5	12.9	13.0	12.7	13.1	12.9
中南米	6.5	6.7	6.6	6.8	7.0	7.0	6.8	6.7	6.9	7.0	7.0	6.9	6.8	7.0	7.1	7.1	7.0
中東	7.9	7.9	7.8	8.2	8.5	7.9	8.1	7.7	8.3	8.7	8.1	8.2	8.0	8.5	8.9	8.3	8.4
アフリカ	3.8	3.9	4.0	4.0	3.9	4.0	4.0	4.1	4.1	4.0	4.2	4.1	4.3	4.3	4.2	4.3	4.2
非OECD計	44.8	45.9	46.0	47.2	47.4	47.6	47.1	47.1	48.4	48.5	48.8	48.2	48.4	49.6	49.8	49.9	49.4
需要合計	90.7	91.9	91.8	91.9	93.3	93.9	92.7	93.5	93.7	95.0	95.5	94.4	95.0	95.1	96.2	96.8	95.8
非OPEC	53.3	54.6	55.9	56.7	57.2	58.3	57.0	58.1	58.3	58.2	58.0	58.1	57.6	57.6	57.6	57.8	57.7
(原油)	31.3	30.5	30.0	30.1	30.5	30.5	30.3	30.5	31.5								
(NGL)	6.2	6.2	6.3	6.3	6.4	6.4	6.4	6.5	6.5	6.6	6.7	6.6	6.7	6.8	6.9	6.9	6.8
OPEC計	37.5	36.6	36.3	36.4	36.9	36.9	36.6	36.9	38.1								
供給合計	90.8	91.3	92.2	93.1	94.2	95.3	93.7	95.0	96.3								
需給ギャップ	0.1	-0.6	0.4	1.1	0.9	1.4	1.0	1.5	2.6								
OPEC生産量(実績/期待)	31.2	31.1	29.6	29.0	29.6	29.1	29.3	29.0	28.9	30.2	30.8	29.7	30.6	30.7	31.8	32.2	31.3

3-2 2015~16年原油価格見通し

(出所)IEA月次報告/9月版より作成

今後の原油価格の動向/EIA短期見通し(10月時点)

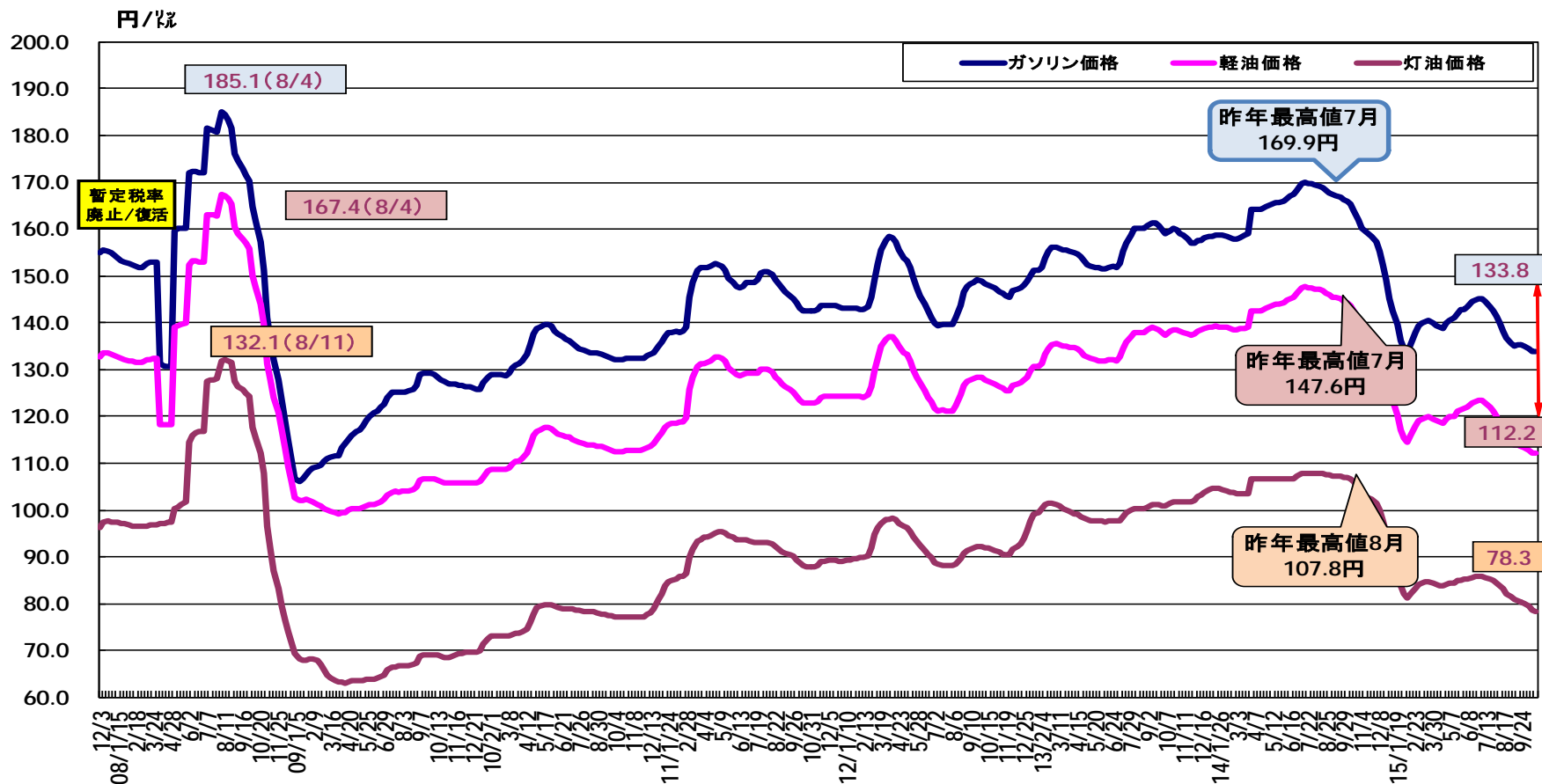
油種	2014CY	2015CY					2016CY
		1-3月	4-6月	7-9月	10-12月	平均	
WTI	93.17	48.48	57.85	46.56	45.34	49.53	53.57
Brent	98.89	53.91	61.65	50.45	50.00	53.96	58.57
格差	▲ 5.72	▲ 5.43	▲ 3.80	▲ 3.89	▲ 4.66	▲ 4.43	▲ 5.00

①米国シェールオイルの増産等で、世界市場は2014年後半から大幅な供給過剰状態にある。

②このような供給過剰状態は、少なくとも2016年前半まで続く見込み。

4. 石油製品小売価格(SS店頭価格)の動向

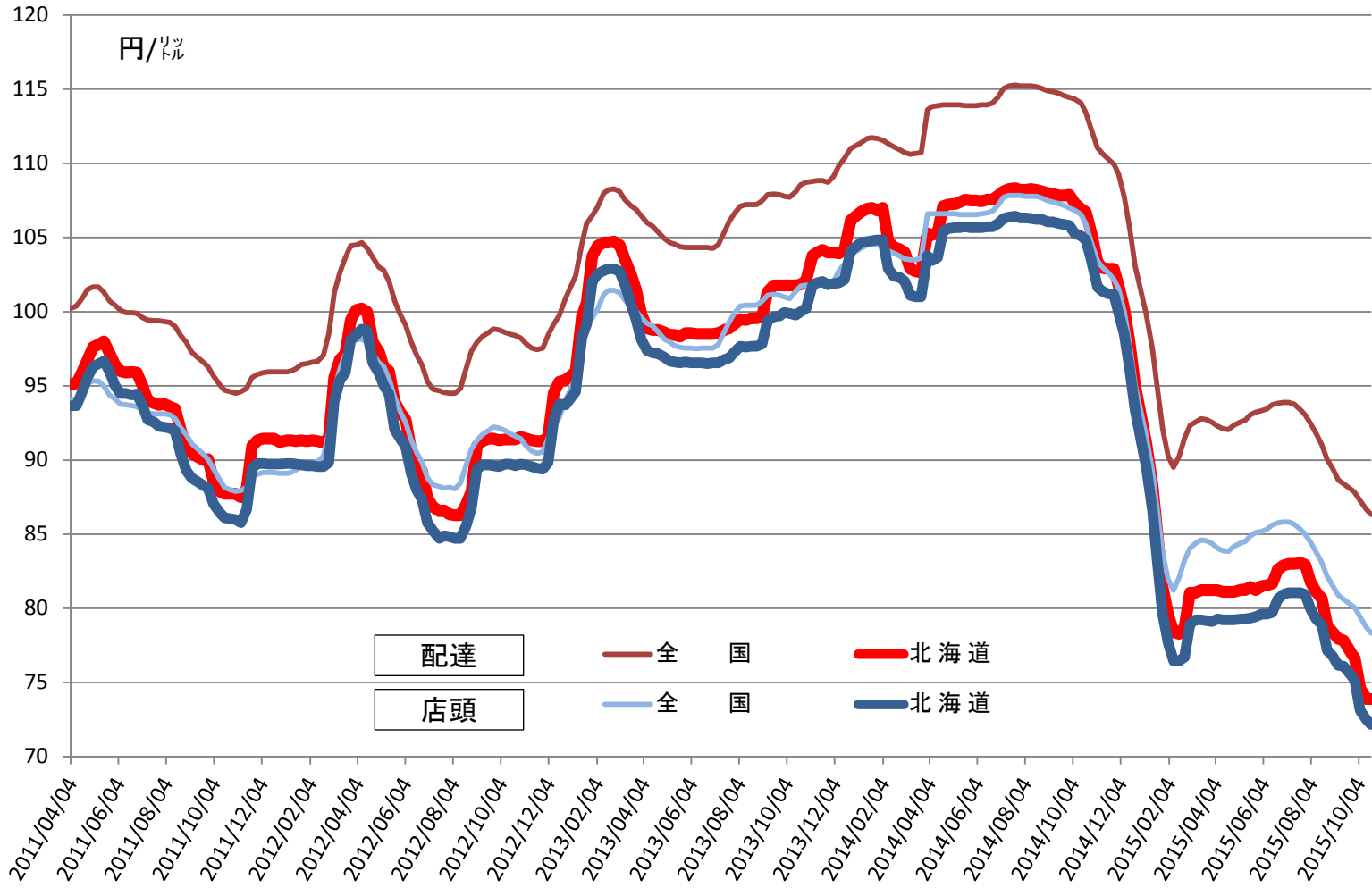
- 国内の石油製品価格は、原油コストを踏まえつつ、油種別の需給や競争環境等も反映した形で市場の中で形成されており、そのため、油種間には多少の価格差が生じることとなっている。
- 今年の灯油価格の最高値は1/5の91.7円、その後若干の値上がり、値下がりを繰り返しながら、現在は2009年以来約6年振りの安値を更新している。



(出所) 資源エネルギー庁公表「石油製品市況調査」

5. 北海道地域の灯油SS小売価格の推移

- 北海道の配達小売価格は全国平均を下回っており、直近では6円/ℓ程度安い。
- 北海道の配達小売価格は年初から100円/ℓを割り込み、直近は70円/ℓ台で推移している。



(出所) 灯油価格は資源エネルギー庁公表の「石油製品市況調査」(週次調査)

參考資料

6. 原油価格の見通し

- 原油価格は、世界経済に大きな影響を与えることから、多くの機関が定期的に予測を行っている。
- 最新の予測では、2017年でも現在より10～15ドル程度の値上がりを見込んでいる機関が多いが、かつてのような100ドル超の原油価格予想はない。

欧米の金融機関による原油価格予測

(ブレント原油、ドル/バレル)

	2015年	2016年	2017年
ゴールドマンサックス	53.70	49.50	65.00
JPモルガン	54.50	52.50	-
シティグループ	54.00	53.00	65.00
ソシエテ・ジェネラル	54.03	54.38	65.00
モルガン・スタンレー	53.00	55.00	75.00
バンクオブアメリカ・メリルリンチ	55.66	55.00	61.00
ドイツ銀行	55.50	57.00	63.00
UBS	55.00	57.50	70.00
バークレイズ	55.00	63.00	-

出所:日経新聞(15.9.16)

日本エネルギー経済研究所 2016年:60ドル±10ドル、2020年:70～75ドル

7. ガソリン、灯油、軽油小売価格(2015年9月)の構造

- 各油種とも『原油CIF+石油諸税』の比率が高い(ガソリン78%、軽油70%、灯油59%)
- ガソリンの税抜き価格(68.9円)と灯油の税抜き価格(71.9円)は灯油のほうがやや高い。
- 『マージン』は精製マージンと流通マージンの合計、最近では低マージンが常態化。

ガソリン

135.2円/L

消費税		10.0円/L
石油・石炭税		2.54円/L
ガソリン税 53.8円/L	暫定上乘分	25.1円/L
	本則税率	28.7円/L
精製費、備蓄費、自家燃費、金利 輸送費、販売管理費 マージン等		29.9円/L
原油CIF		39.0円/L

軽油

113.7円/L

軽油引き取税 32.1円/L	暫定上乘分	17.1円/L
	本則税率	15.0円/L
+		
消費税		6.0円/L
石油・石炭税		2.54円/L
精製費、備蓄費、自家燃費、金利 輸送費、販売管理費 マージン等		34.1円/L
原油CIF		39.0円/L

灯油

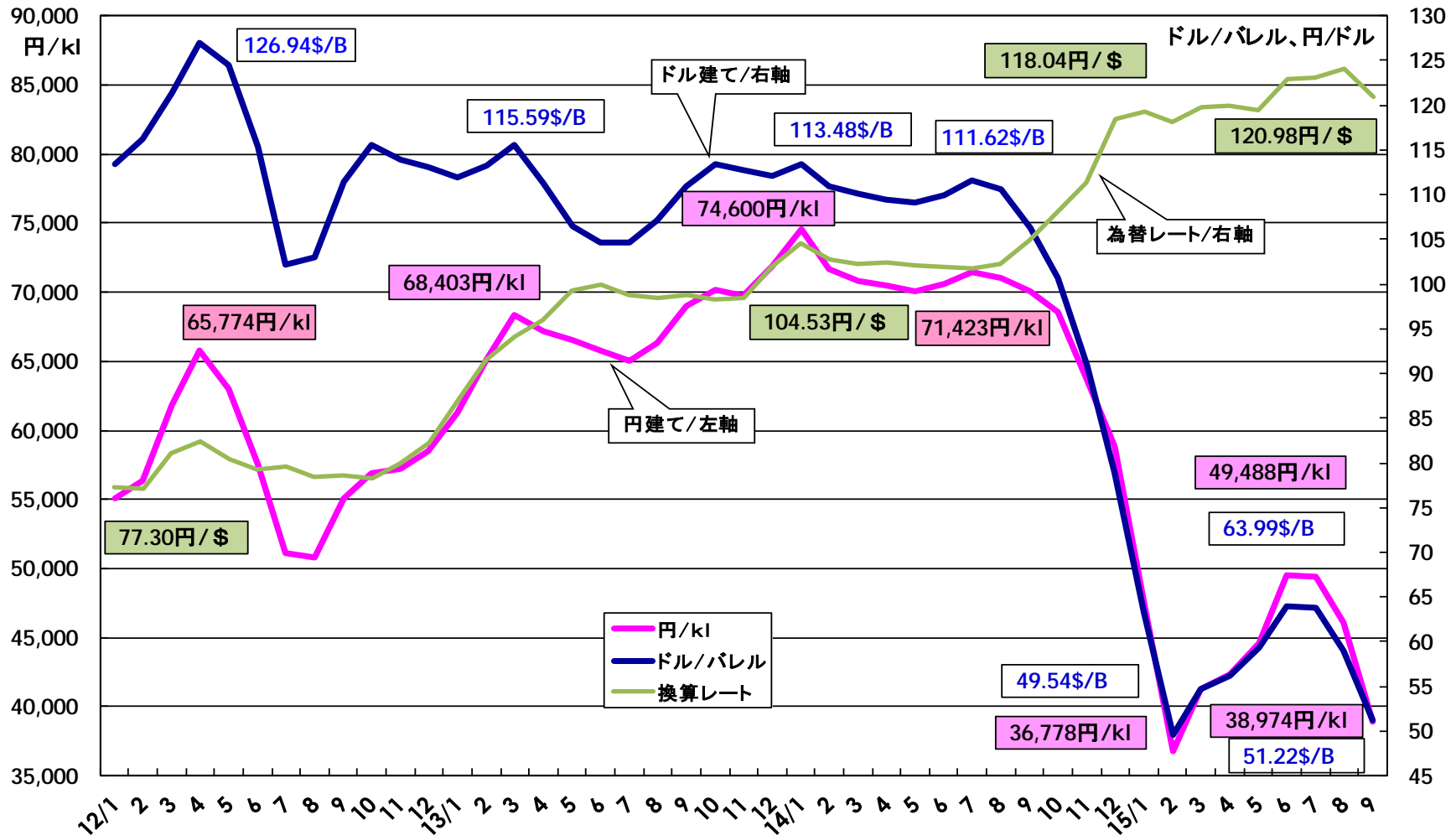
80.4円/L

消費税		6.0円/L
石油・石炭税		2.54円/L
精製費、備蓄費、自家燃費、金利 輸送費、販売管理費 マージン等		32.9円/L
原油CIF		39.0円/L

(原油CIFは速報値)

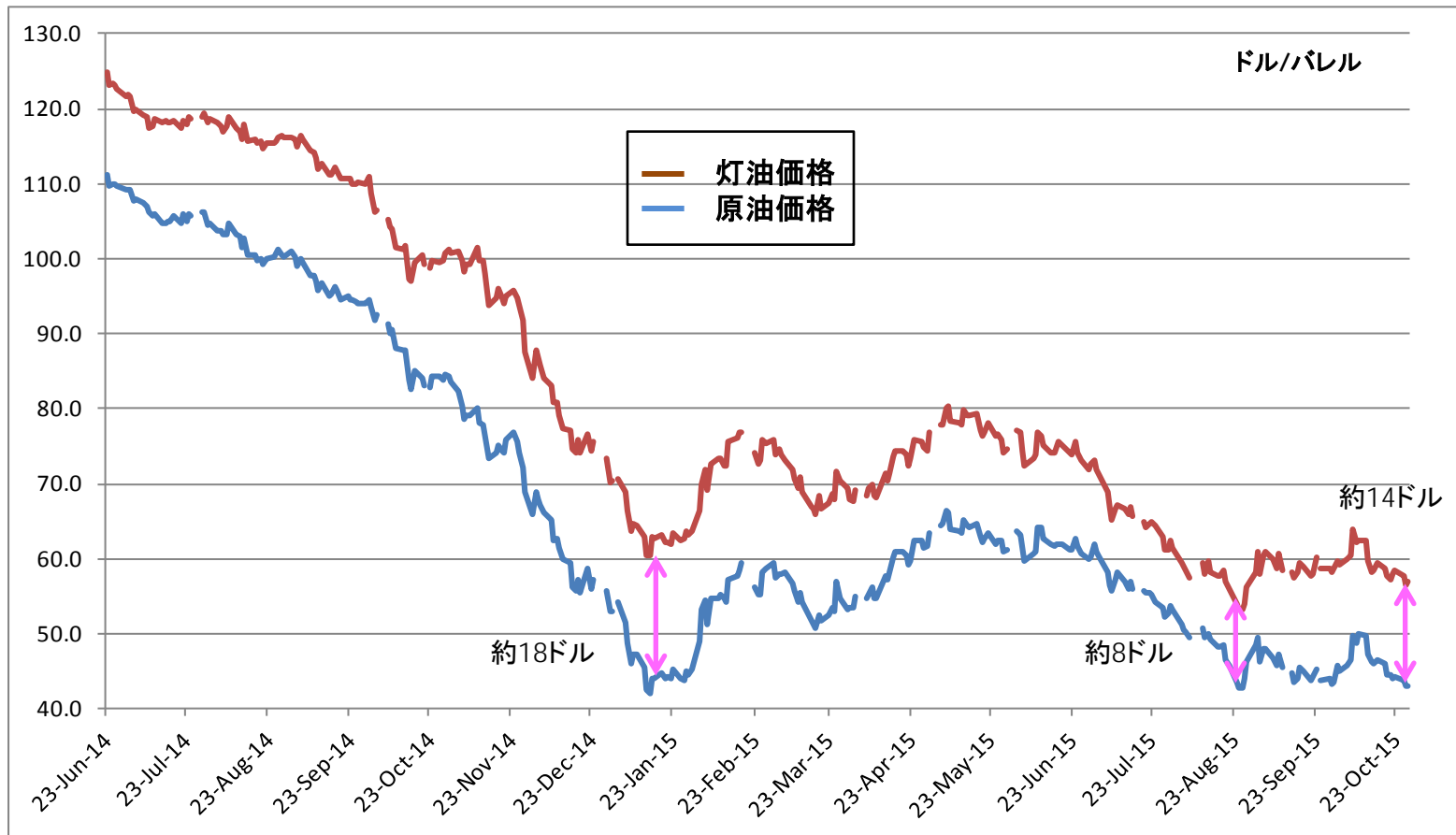
8. 最近の原油価格における為替(円安)の影響

- 今年の原油CIF価格(日本到着価格)は円ベースでは6月が最高、ドル建てで63.99ドル/バレル、円建てで49,488円/kl、為替レートは122.95円/ドル。さらに直近の9月では51.22ドル、38,974円/kl、為替レートは120.98円/ドル。
- 昨年9月と本年9月との比較では、原油価格(ドル)は約52%下落しているが、円安の進行により、円ベースでは約44%の下落にとどまっている。



9. シンガポール市場における原油価格と灯油価格

- シンガポール市場における灯油価格は、昨年夏以降は原油価格同様下落しており、1月には60ドルを記録した。
- 原油価格はその後回復したが、灯油はオフシーズンとなった5月以降下げ足を速め、8月には50ドル台を記録し、原油との値差も8ドルまで縮小した。
- 現在灯油はシーズンインを控え、60ドル前後まで値上がりし、原油との値差も15ドル前後まで拡大した。



出所:石油情報センター調査